

2005,12,28

日本技術士会カンボジア技術協力フォーラム 御中

第3次グリーンテクノロジー研修随行記録

藤井健史

(社)日本技術士会 カンボジア技術協力第3次グリーンテクノロジー研修に随行し、カンボジアでは他の活動を行ったのでその概略を報告する。

1. 日程

12月4日 19:15 プノンペン着

12月5日 AM グリーンテクノロジー開講式参加、講義傍聴

PM カンボジア環境省 環境影響評価部訪問

12月6日 タケオ地区伝統織物部落5箇所 訪問

夕刻 EIC 個小向町主催晚餐会に出席

12月7日 AM C-PROの案内によりプノンペン市内工場訪問、C-PRO社訪問

PM 市内視察

プノンペン発 20:25 日本へ

なお、筆者が顧問をしている花嫁わた(株)吉村光正氏が同行した。

便宜を図っていただいたことに感謝しています。

2. カンボジア環境省 環境影響評価部 訪問

環境影響評価部よりカンボジア技術協力フォーラムに要請があり、「ホテルと観光事業の環境影響」に関するセミナーを今年(2005)5月16~17日の間、プノンペンで行った。

それから半年を経て、その後の様子を確かめるために訪問した。

(この間吉村氏は丸紅(株)プノンペン事務所を訪問し、プノンペンの縫製工場の実情について説明を受け、1社を訪問した。また、絹織物の販売店を訪問し、カンボジアの絹織物について調査を行った)

(1) 訪問日時：12月5日 14:00~17:00

(2) 面談者:Mrs.CHOU SOKUPHANY (部長)

Mr. MOK SOPHEA (次長)-----写真

Mr. DUONG SAMKEAT (次長)-----写真

Mr. PUTH SORITHY (主任)-----写真 (環境省官房長の息子)

Mr. CHEA LENG----案内役

(3) 面談内容：SOKUPHANY 部長にその後の様子を聞き、日本から持参した資料を渡した。先方はその後の展開よりも、前回の Training Workshop はよかったので是非あのような Training Workshop をシェムリアップで開きたいとの要請があった。

どこにどのようにお願いすればいいかと問われたので、帰国後カンボジア技術協力フォーラムにて報告・相談すると伝えた。

(4) その後、部員を集めてあるからと講堂に連れてゆかれ、20名程度の人たちに講演を要請された。プレゼンテーションの用意をしていなかったのが戸惑ったが、日本から持参の資

料の説明をつたない英語で行った。

(5) 日本よりの英文の提供資料

Eco-Action 21 (Environmental Management System) (環境省)

Water Environmental Management in Japan (環境省)

Guidebook for Recycling-Oriented Society (クリーンジャパンセンター)

(5) 対応者の名詞と写真 (別紙添付)

3. 伝統織物の集落の訪問

丸紅株の好意により、車の提供を受け、同事務所の TE DUOHG SOMALIN さんの案内で伝統絹織物の集落を吉村氏とともに訪問した。

(1) 日時：12月6日 7:30～14:00

(2) 場所：プノンペン南方 50～60 km のタケオ周辺の集落 5 箇所

(3) 状況：集落ごとに作っている織物がまったく違っていた。

服地用にかすり様の伝統模様の織物は織り手ごとにデザインを決め、模様を織り出すために横糸を染色して使用する。まったくの手織りである。(写真)

各家庭ごとに高床式住宅の土間に織機を置いている。

模様 2メートル、無地 2メートルあわせて 4メートルの服地を織るのに 2週間を要するという。

他の部落では、クロマー用の狭幅、ショール用の幅と柄、色の濃淡をつけた格子柄等部落ごとに作っている織物が違う。

最初の部落と違い織機を 5～10 台ほど集めて織物センターとしているところが多い。

生産性のよい簡単な柄物を作るところでは 2メートル/日 織ることができるという。

流通経路が未整備の感じを受けた。

染料は草木染、ドイツ輸入品、タイ輸入品があり、高価なドイツ製を使わなければ EU への輸出はできないことになっているという。

(4) その他

幹線道路から外れると一面水田で稲穂が頭をたれていた。あぜ道もない。豊かさをみた思いがするが、これだけ広い稲原を人手で刈り取るとは気の遠くなるような思いだった。(写真)

各家に大きな水がめが備えられていた。雨水貯槽の用で飲料水らしい。(写真)

途中、自動車用バッテリーをたくさん並べている箇所を見た。バッテリーの充電ステーションである。開校式でのイット・プランさんのスピーチを想起した。

4. 市内工場見学と C-PRO 社訪問

農産物加工コースの通訳を務めた EM CHAMNAB さんの紹介で C-PRO 社を訪問し、寝装品の工場を吉村氏と共に訪問した。

(1) 日時：12月6日 8:00～13:00

(2) 対応者：NEAM KOPY (President) -----長岡技術科学大 建築

BANH UYLENG (CEO)-----宇部工専 環境

KE SARATH (Manager)

(3)C-PRO の概要(名刺及び会社案内の一部を添付)

日本への留学経験のある人たちで組織した会社である。

知識人であり日本語がよくできて非常に都合がよい

また、環境関係の仕事に興味があるようなので (Mr. Uyleng) 昨日訪問した環境省の職員のことを聞いてみると、知己であるとのことだった。

彼は排水の浄化に興味があり、また、飲料用の浄水器を手がけたいという希望があった。

昨日の風景から浄水器の需要はうなづけたし、排水の浄化は私が環境省に勧めた事柄である。その状況を説明した。

Uyleng 氏は環境省と情報交換・協力しながら進めたいとのことでした。

これまでの活動が少しばかりネットワークを構成し始めたように感じた。

浄化槽のパンフと価格、浄水器の資料を送ることを約束した。

(3) 寝装品の工場

小規模な工場を 2 箇所訪問した。

クッション、ソファ等が中心で別途カバーや布団といった大型のものはなかった。

パンヤがたくさん自生しているようでこれの活用法はないかとたずねられた。

5 . 感想

今回は、カンボジアの縫製事業の実態と伝統織物の状況を確認したいという吉村氏と同行した。事前に丸紅株のプノンペン事務所と折衝し、調査・案内を依頼したが、期待通りではなかった。

在プノンペンの日本商社はいずれも ODA に関わる仕事が目的であり、小型・民間の案件には興味が少なく、地場産業の事情にはあまり詳しくない模様であった。

今回は最初の視察・見学を含めると 4 回目のカンボジア訪問となる。

ようやく先方の事情が少しばかり判りかけてきたようであり、これまでの活動が少しばかり広がりを見せ、実際的にカンボジアの発展に役立ちそうな様子となってきたように思う。

以上

添付資料 1 : カンボジア環境省環境影響評価部 面談者の名刺と写真

2 : 伝統織物の集落の風景と C-PRO 社の名刺

3 : C-PRO 社のパンフレット 1

4 : C-PRO 社のパンフレット 2



NEAM KOPY
PRESIDENT
Mobile : 012 377 722
Email: kopy@cpro-corp.com



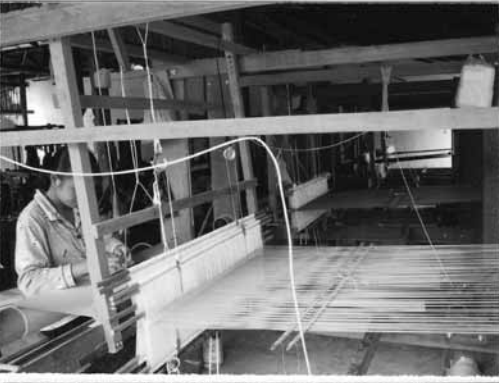
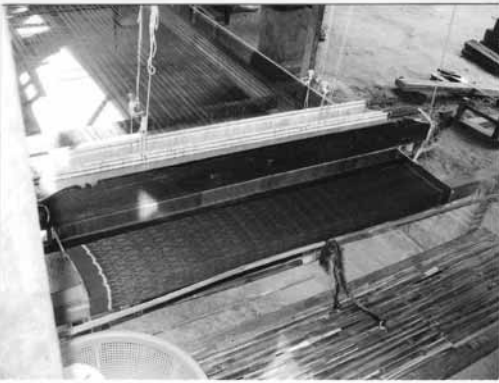
BANH UYLENG
C.E.O
Mobile : 012 977 790
Email: uyleng@cpro-corp.com

2005.12.5 7/1/07 社長 WWW.CPRO-CORP.COM

社長? WWW.CPRO-CORP.COM

C-PRO CO., LTD
#14 St. 240, Sangkat Chaktomuk, Khan Doun Penh
Phnom Penh, Cambodia.
Tel : (855) 23 224 137 Fax : (855) 23 223 087
Email : info@cpro-corp.com

C-PRO CO., LTD
#14 St. 240, Sangkat Chaktomuk, Khan Doun Penh
Phnom Penh, Cambodia.
Tel : (855) 23 224 137 Fax : (855) 23 223 087
Email : info@cpro-corp.com





G-PRO CO., LTD



SHAPE THE FUTURE

WWW.CPRO-CORP.COM

問合わせ
#14 St.240, Sangkat Chaktomuk, Khan Daun Penh,
Phnom Penh, Cambodia.
Tel: 855-23 224 137, Fax: 855-23 223 087
E-MAIL: info@cpo-corp.com



ក្រុមហ៊ុន ភី-ប្រូ ឡីមីតធីត
G-PRO CO., LTD

未来の構築

WWW.CPRO-CORP.COM

背景

C-PRO Co., Ltd は日本に留学したカンボジア人学生によって2005年に設立された。
当社はお互いの理解の精神および「未来の構築」というスローガンを意に進行している。
本社の連絡先： # 14, st. 240, Chaktomuk, Daun Penh, Phnom Penh, Cambodia.
電話： (855) 23-223-087, Fax： (855) 23-224-137, ホームページ： www.cpro-corp.com
在日支店： ヒルズ三栄町1階12-6, 三栄市, 新宿区, 東京, 日本, 〒160-0008
電話： (81) 03-3226-3090, Fax： (81) 03-3226-3091

部門

当社は次の部門で成された。

- 日本への研修生派遣
- ITおよびネットワーク・ソリューション
- トレーディング
- 建設
- コンサルティング
- エコロジー

目的

- カンボジア国内の技術能力の向上および仕事市場の拡張
- インターネットを通じてメディアやコマースや分野の推進およびカンボジア国内の
販売の促進
- カンボジアの高麗資源を輸出し、新しい品物を輸入してカンボジアの現代化
- コンサルティングや翻訳サービスを提供
- 環境問題の管理およびカンボジア国内の清潔な水の提供

カンボジア環境省 環境影響評価部



Ministry of Environment
Department of Environmental Impact Assessment

①

MOK SOPHEA

Deputy Director of EIA Dept.

Mobile phone: 012 76 36 36
E-mail: sophea_mok@yahoo.com

#48, St. Samdech Preah Sihanouk Ave., Sangkat. Tonle Bassac,
Chamkarmorn district, Phnom Penh, Cambodia

5/15 出迎

KINGDOM OF CAMBODIA
MINISTRY OF ENVIRONMENT

部長
Mrs. CHOU SOKPHANY
Director of Environmental Impact Assessment
Department & Chief Women Association

N°48, Samdech Preah Sihanouk
Tonle Bassac Chamkarmorn, Phnom Penh,
Cambodia.

HP: 012 818 078
011 853 732
Fax: (855-23) 212 540



Ministry of Environment
Department of Environmental Impact Assessment

②

DUONG SAMKEAT

Deputy Director of EIA Dept.

Mobile phone: 012 880 240 / 011 289 660
E-mail: samkeat@hotmail.com

#48, St. Samdech Preah Sihanouk Ave., Sangkat. Tonle Bassac,
Khan Chamkarmorn, Phnom Penh, Cambodia

MINISTRY OF ENVIRONMENT
Dept of Environmental Impact Assessment

③

PUTH SORITHY

Chief of Project Monitoring Office
(Forestry Engineer)

N° 48, Samdech Preah Sihanouk
Tonle Bassac, Chamkarmorn,
Phnom Penh, Cambodia

H/P: 012 913 262
016 913 262
E-mail: puthsorithy@hotmail.com



KINGDOM OF CAMBODIA
Ministry of Environment

MASAGO MIZUHO ម៉ាសាហ្គូ មីហ្សុហ្គូ
Volunteer (JOCV/JICA) M.Eng.



Chea Leng

TEL (855) 12249798
FAX 012249798
E-mail: chealeng2000@yahoo.com